第3回エリア懇談会を開催しました。

第3回エリア懇談会では、第2回エリア懇談会のディスカッションテーマについて、引き続きそれぞれの課題や今後の取組などについて、意見交換を行いました。

開催概要

日時：平成27年3月12日（木）18時30分から20時

場所：両国駅前会館 多目的室

出席者：両国一〜四丁目町会、千歳連合町会、両国料理飲食業組合、吉良邸跡保存会
計6名

事務局：墨田区都市計画課、観光課 計5名

祭りの賑わいをひろげる テーマに関する意見

祭りに取り組む地域への想い

- ・元禄市は、地域の人たちで取り組んだ野菜の朝市からはじまった。当時は、野菜が売り切れると、江戸東京博物館の場所にあったやっちゃば（江東市場）に買いにいったものだ。
- ・吉良祭・元禄市は、先輩たちが苦勞して築き上げてきた。歴史があるから今一大イベントになっている。
- ・新しい住民の中には祭りを喜んでくれる人たちも多いが、課題も多い。地域住民の祭りへの理解を深めたい。

馬車通りの賑わいをひろげる取組

- ・新しい住民の中には祭りを喜んでくれる人たちも多いが、課題も多い。地域住民の祭りへの理解を深めたい。
- ・アパレルの発信地として、かつて馬車道を活性化する取組をしていた。ワゴンを350台用意して、花を売ったこともある。とても賑わった。
- ・馬車道の街路灯にフラッグをつけていたことがあった。見事なものだった。

イベントの連携や水辺を愉しむしかけづくり

- ・町会で、毎年夏に国技館通り祭りを行っている。昼は阿波踊り、夜は盆踊りを行っている。納涼の夕べと時期を併せている。もっとPRしていきたい。
- ・両国納涼水辺まつりは年々賑わってきている。もう少し期間が長くなるとなおよいのではないか。
- ・隅田川でビールを飲むととても気持ちがよい。川沿いにお店を出すなど、夏だけでもビアホールができるとよい。

海外からのお客様を迎える体制づくり

- ・オリンピックに向けて、イベントなどにも海外のお客様も多く来るようになる。まちの PR も含めながら、生活のルールなどもお知らせしていく必要がある。

地域のまち歩きからはじめる、 地域資源の再認識とまち歩きのしかけづくり テーマに関する意見

既存の資源をいかした水辺の魅力づくり

- ・庭が楽しめる、水辺が楽しめるなど、まち歩きをしながら立ち寄れるカフェなどがあるとよい。
- ・まちをよく見ると戦前の建物や船宿などが残っている。そういったものを活用していきたい。
- ・両国は日本のベニスだと思っている。隅田川や豊川などの水辺を活用したい。

まち歩きを楽しむしかけづくり

- ・地域の歴史への興味は、まちへの参加のきっかけになるのではないかな。
- ・見所のある点をたくさんつくってきたい。
- ・各町会に、それぞれの地域にちなんだ歴史上の人物のシンボルをつくりたい。
- ・広場などでお茶を飲ませるのもよいのではないかな。
- ・区内循環バスのバス停新設を記念して、イベントをしてみたい。